

＝第49回＝

いきがい やりがい

琴、三味線の和楽器商 白井 洋一郎さん

新田宿在住



昨年1月、新田宿に『和楽器専門 湘南』をオープン。おもに琴、三味線の修理、販売がお仕事で、座間を拠点にクルマで出張し、県内各地のお客様を訪問しています。「三味線の三の糸一本からお届けする」というように、機動力と気の利くサービスをモットーに営業しているそうです。

一般的に和楽器店は、〇〇堂、〇〇屋という屋号が多いそうですが、新しいタイプ和楽器店を目指し「湘南」という名称にしたとのこと。

こと。また、小田原方面や横浜方面に出張することが多いので、その中間点の座間を拠点に選んだそうです。「日本の伝統的な楽器じゃないですか。気軽にふれて、多くの方が演奏を楽しめるような環境作りをしたい。琴、三味線がもっと身近になればいいなあ、という気持ちです」。

30歳の時、外食産業の調理師から和楽器業界に転身。北陸の和楽器店での10年間の修行を経て、独立開業。「父が祭り好きで、子供の頃はよく篠笛(竹製の横笛)を吹いていました」と話します。琴や三味線を弾いたことはありませんでしたが、修行中に調弦をとる程度に弾けるようになったそうです。転身した当初、まったく違う世界だと思っていたそうですが、「和楽器も料理も感覚や感性の世界。調弦の際の手の感覚などが、料理の世界に似ていると思います」と話していました。

アフターサービスのひとつとして、演奏会のお手伝いも重要です。調弦や楽器の並びなどに気を配り、みなさんが気持ちよく演奏できるように心掛けています。

「楽器はマメにメンテナンスすると傷みませんし、長持ちします。調子が悪いなと思ったら、原因が

高校サッカー 関東大会予選

座間高校が関東大会出場

決勝は日大藤沢に惜敗、県第2代表で4度目の挑戦

第53回関東高校サッカー大会・神奈川県予選の決勝が5月9日、相模原市の麻溝公園競技場であり、地元・県立座間高校は0-1で日大藤沢に敗れ準優勝。しかし、上位2チームにあたる関東大会出場権を獲得。県第2代表として6月5日〜7日、群馬県内で行われる関東大会に出場する。同校の関東出場は2年ぶり4度目。

座間高校サッカー部(内田雅之監督)は、強豪私学がひしめく県内高校サッカー界の中で、公立校ながら常に上位に進出する強豪校。今年も関東予選は準々決勝、準決勝と、強豪私学との紙一重の接戦を制して決勝に進出。



決勝・座間-日大藤沢戦。日藤ゴール前での攻防

日大藤沢との決勝では前半互角、後半やや押し気味に試合を進め、相手ゴールに2度シュートを決めネットを揺らしたが、どちらもオフサイドの判定でノーゴール。座間校選手が天を仰ぐシーンがあった。日大藤沢は試

合終了間際のロスタイムに、座間DF陣のスキをつきゴールを決め逃げ切った。

座間の内田監督は「公式記録でうちのシュート数は3本。相手を崩すまでいかに厳しい試合でした。すべての面において底上げが必要と感じましたし、1対1の場面での課題も見えた」と、決勝での戦いぶりを冷静に分析。「試合でいい結果を残すには、日々の取り組み、戦いに向けてのよりよい準備と質の向上にかかっている」。

今回はまだまだ足りなかったというところで」と厳しい。

しかし関東大会に向けては、「出場する大会は、すべて頂点を目指すのが目標です」とキツパリ。「第2代表のグループですが、いい結果を残してインターハイ予選につなげたい」と抱負を述べた。

座間高校の関東大会県予選の試合結果は次の通り。

2回戦	○ 3-0	横浜創英
3回戦	○ 4-0	海老名
4回戦	○ 4-1	秦野総合
5回戦	○ 3-1	日大
準々決勝	○ 1-0	渕野辺
準決勝	○ 2-1	相洋
決勝	● 0-1	日大藤沢

(4月11日〜5月9日まで、○は勝ち、●は負け)

さがみフィルハーモニック 第8回定期演奏会

座間、海老名を活動拠点とするアマチュアオーケストラ『さがみフィルハーモニック』の定期演奏会が5月30日(日)14時、ハーモニーホール座間大ホールで開かれる。入場無料、全席自由。

曲目はブラームス交響曲第1番、ベートーベン エクモント序曲など。13時半開場、希望者は直接会場へ。満席の場合は入場できない場合もあります。



問合せは、宮崎さん ☎046-263-7869へ

APEC警備にご協力を!

座間署が啓発キャンペーン

「APEC首脳会議開催に伴う警備にご理解とご協力を!」。座間警察署とAPEC座間市安全安心協力会は4月23日午前、小田急線相武台前駅周辺で、APEC首脳会議に向けた警備強化の啓発キャンペーンを行った。

同会議は今年11月、横浜市内で開催される世界最大規模の国際会議で、21の国、地域の首脳が集まる。



駅前PRする署員と協力会メンバー 県警マスコットのピーガルクンも出動

かけたら、情報提供もよろしくお願ひします」とのこと。6月中には、座間市内でテロ対策訓練も予定しているという。

情報提供は座間警察署 ☎046(256)0110、緊急時は110番へ。

大凧舞い上がる

5日、4分間の飛行に成功

江戸時代後期から続く伝統行事『座間の大凧まつり』が5月4日と5日、相模川グラウンドで行われ、両日で約10万人の見物客が訪れた。

座間の大凧は約13四方で総重量約1ト。隣接した会場で行われる相模原市の大凧より重量が重い。ため、よほどいい風に恵まれないと揚がらず、毎年、関係者のご苦労も多いと聞く。

今年は2日間とも風が弱かったが、初日は終了間際にようやく1分ほど揚がり、2日目には4分間の大飛行に成功。50層の高さまで揚がり、見守っていた見物客から拍手と歓声があがった。

(写真)4日午後3時半頃、弱風の中、ふわっと揚がった大凧



★本紙あさポケでは、「いきがい、やりがい」子ども記者に登場して頂ける方を募集しています。自薦、他薦問いません。問合せは、ASA座間 ☎046(256)11878、または編集室 ☎042(706)0668まで。